

辺野古新基地ノー「オール沖縄」候補が圧勝



玉城知事や支援者とともに喜ぶ屋良朝博氏（左から2人目）

衆院沖縄3区補選

衆院沖縄3区の補欠選挙（21日開票）で、普天間基地に代わる辺野古新基地に反対する「オール沖縄」の屋良朝博氏が、安倍政権が全面支援した島尻安伊子氏を破り、初当選しました。昨年9月の県知事選、今年2月の県民投票に続き、三たび「新基地ノー」の審判を明確に下したもので、県民の大勝利です。

安倍政権は、今回の選挙結果を真剣に受け止め、新基地建設をただちに中止し、普天間基地の無条件撤去を求める対米交渉を行うべきです。

安倍政権は結果を真摯に受けとめよ

滋賀県議選・市町議選ともに議席増

日本共産党は、4月7日投票の滋賀県議会選挙で、3議席から4議席へと議席増を勝ち取りました。また、21日投票の市町議会選挙でも、16人全員が当選し、2議席増となりました。

引き続き、7月の参議院選挙に向けて、安倍政権ノ一の審判を下すために、奮闘します。

日本共産党甲賀市議員団

議会報告会

■日時：5月11日（土） 午後7時～9時

■場所：甲賀創建館 1階

3月議会報告を開かせていただきます。議会の報告とともに、皆さんからのご要望などもお聞きします。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

水口まつりで署名行動



戦争させない甲賀市民の会は、19日・20日水口まつり会場周辺で、ヒバクシャ署名と消費税10%増税中止の署名行動に取り組みました。岡田議員も参加。若い人たちがたくさん署名に応じてくれました。

3月議会意見書

先の3月議会で日本共産党議員団は、議案提案権を生かして7つの意見書を提出しました。「児童虐待死 悲劇を断ち切る真剣な対策を求めよ」「幼児教育・保育の無償化に関する」の2つの意見書は可決されましたが、残り5つの意見書は否決されました。提出した意見書案は、どれも国政の基本問題であり、市民の暮らしや福祉、安全にかかわる重要な問題です。

提出した中から、「根底が崩れた消費税増税は中止することを求める」意見書について紹介します。

消費税10%増税については、自民党の萩生田幹事長代行からも、延期を示唆する発言が出てきています。このことは、いかに今回の増税が根拠もなく、国民生活をおびやかすものかを示すものです。

根底が崩れた消費税増税は中止することを求める意見書（要旨）

消費税税率が5%から8%に引き上げられてから、消費が一気に落ち込み、深刻な消費不況が続いている。

さらに、実質賃金は増税前と比べ10万円以上も落ち込んでおり、消費税増税の元になる「消費は持ち直している」「賃金や所得は改善した」という安倍首相の主張も、根拠がないことが明らかになった。消費税を引き上げれば、ますます暮らしや経済が成り立たない。増税は中止すべき。

賛成は、日本共産党の3議員と無会派竹若議員のみ

反対討論（凜風会 田中喜克議員）

少子高齢化社会の到来のもと、増え続ける社会保障費をまかなうためには国の収入を増やすしかない。消費税ができ30年になるが、当たり前の税となり定着している。先が見通し難い経済状況において、10%増税が厳しい判断におかれていることも現実だが、将来の社会保障を考えると、これ以上先延ばしはできない。よって意見書の主旨には沿い難く反対。

反対は、凜風会8議員、志誠会6議員、公明党3議員、無会派鶴飼議員

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2019年4月28日 第261号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696